



アルインコ株式会社 個人投資家向け会社説明会

2025年 10月 18日

証券コード：5933

<https://www.alinco.co.jp/>



会社概要	2
トピックス	8
2026年3月期第1四半期業績	14
2026年3月期予想	21
株主還元	26
Appendix	31

事業紹介

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

「中期経営計画2027」進捗状況

社会課題への取り組み



会社概要

動画の完全版は弊社HPにて是非ご覧下さい。



会社案内 Ver 3.2

06:44

社 名	アルインコ株式会社
上 場 市 場	東証プライム（2022年4月4日移行）
創 業	1938年
設 立 年 月 日	1970年7月4日
従 業 員 数	連結 1,425名、単体 770名
資 本 金	63億61百万円
発行済み株式数	21,039,326株
連 結 総 資 産	712億59百万円
グ ル ー プ 会 社	20社（国内11社、中国3社、タイ3社、ベトナム1社、インドネシア2社）
連 結 会 計 期 間	毎年3月21日～翌年3月20日
会 計 基 準	日本基準

1938年（昭和13年）	大阪において「井上鉄工所」を創業、自転車部品などの製造を行う
1970年（昭和45年）	「井上鉄工株式会社」設立
1983年（昭和58年）	社名を「アルインコ株式会社」に変更
1993年（平成 5年）	大阪証券取引所市場第二部に上場
2003年（平成15年）	中華人民共和国に現地法人を設立し、アルミ製品の生産を開始
2006年（平成18年）	東京証券取引所市場第二部に上場
2012年（平成24年）	タイ王国に現地法人を設立し、仮設機材の生産・レンタル事業を開始 インドネシア共和国に現地法人を設立
2014年（平成26年）	東京証券取引所市場第一部銘柄指定
2015年（平成27年）	東京本社を設置し、大阪本社との2本社制とする 兵庫第2工場を拡張し生産能力を増強 移動式昇降足場メーカーの （株）シップ を子会社化
2016年（平成28年）	測量・レーザー機器メーカーの エス・ティ・エス（株） を子会社化 ベトナム社会主義共和国に現地法人を設立
2017年（平成29年）	物流関連製品メーカーの 双福鋼器（株） を子会社化（51%の株式を取得）
2018年（平成30年）	アルミブリッジメーカーの 昭和ブリッジ販売（株） を子会社化
2020年（令和 2年）	双福鋼器（株）を完全子会社化
2021年（令和 3年）	プリント配線板メーカーの 東電子工業（株） を子会社化 金型製作からプレス加工までの一貫生産を行う （株）ウエキン を子会社化
2022年（令和 4年）	東京証券取引所の市場再編に応じてプライム市場に移行

経営方針 ニッチマーケットでトップ企業に

コア事業

建設機材関連

新型足場アルバトロス

中高層市場シェア **No.1**

大手ゼネコン採用率 **No.1**

取扱アイテム数 **No.1**



アルミ朝顔・吊り足場

市場シェア **No.1**



レンタル関連

建設機材関連事業と連携して事業展開

住宅機器関連

アルミ昇降機器

量販店シェア **No.1**



農業機材



高所作業台



フィットネス小物



ホームフィットネス機器

市場シェア **No.1**



業務用フィットネス機器



電子機器関連

特定小電力無線機

無線機オプション

アイテム数 **No.1**

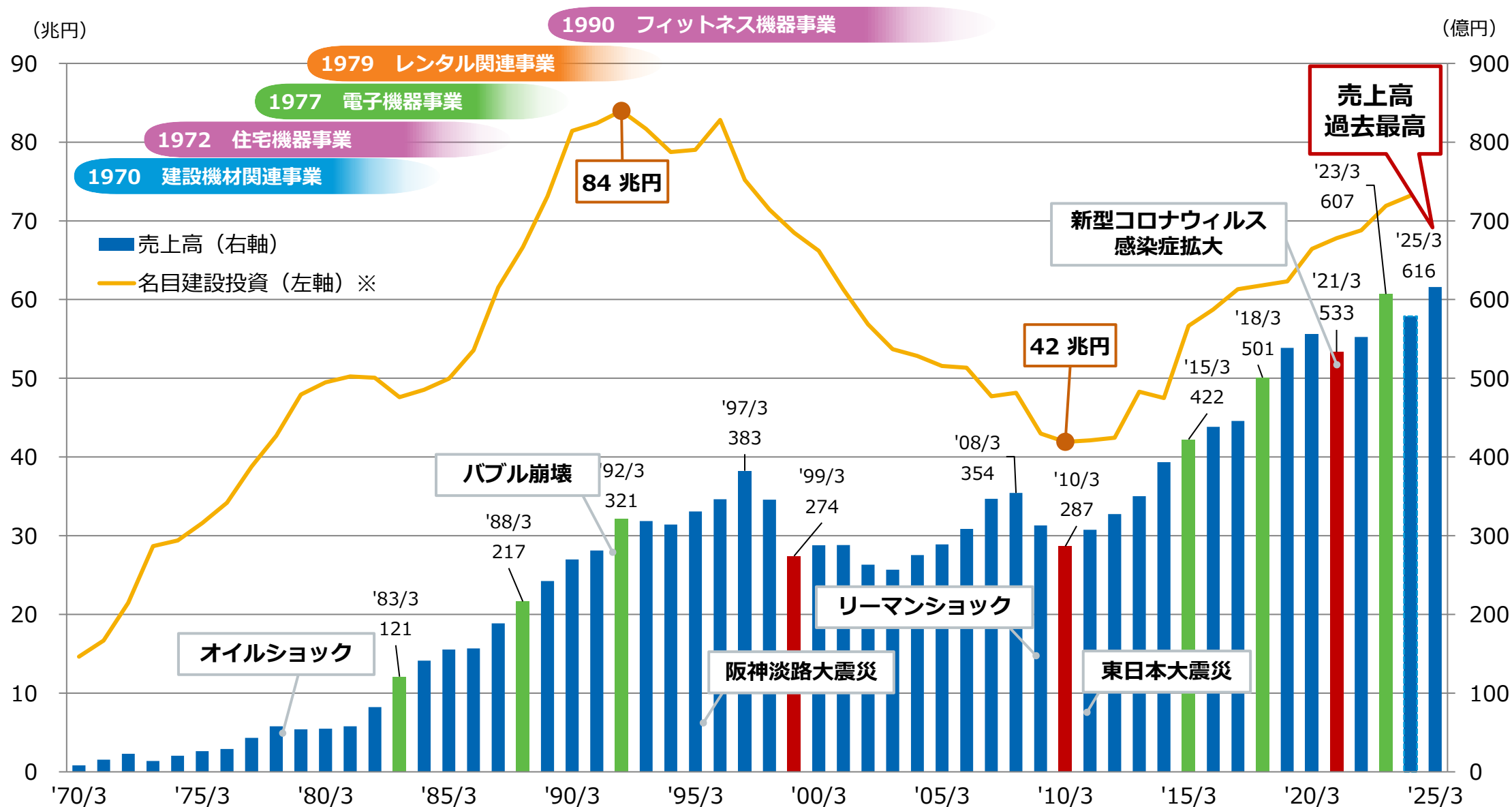
デジタル消防受令機

車載型デジタル簡易無線機

市場シェア **No.1**



設立からの売上高推移



※出典：国土交通省「令和6年度 建設投資見通し」

An aerial, high-angle view of a city skyline rendered in a light blue, wireframe-like 3D style. The buildings are represented as simple rectangular blocks of varying heights, creating a dense urban landscape. The perspective is from directly above, looking down at the city. The overall color palette is a monochromatic light blue, giving it a clean, architectural feel.

トピックス

◆ 福知山第2物流センター竣工

京都府福知山市の長田野工業団地「アネックス京都三和」内に建設を進めていた、福知山第2物流センターが、2025年3月31日に竣工いたしました。

本センターは、向かい側に位置する福知山物流センター(2021年竣工)との一体管理・一元利用および、委託保管中の製品倉庫集約による業務効率化と経費削減を実現することができます。

	福知山物流センター	福知山第2物流センター
敷地面積	23,917.12㎡	14,668.37㎡
延床面積	9,091.21㎡	6,621.60㎡
竣工日	2021年6月22日	2025年3月31日

福知山第2物流センター



© Google

◆ ブランドステートメントの制定

この度、弊社が掲げる理念や使命、価値観などを簡潔に表現し、アルインコブランドのアイデンティティを明確にするため、ブランドステートメントを2025年6月5日に制定いたしました。

このステートメントは、弊社の価値観や目指すべき方向性を示すものであり、今後の活動において重要な指針となります。会社全体で共有し理解し共感したうえで「安心と豊かさを創る」を当社ブランドステートメントとして制定いたしました。



[ALINCO BRAND]

それは人々に安全と安心を届ける品質の証
便利さと豊かさを生活に届ける創意工夫の証

1938年の創業以来、人々の声に真摯に耳を傾け
独創と進化を続け環境の変化に立ち向かってきた

品質を突き詰め、限界を突き抜け
より深く人のために役立ちたいという想いを胸に
より深く社会のために役立ちたいという願いを糧に
妥協することなく、お客様のニーズに対峙する

その先にある「信頼」を目指して
静かにたぎる「誇り」をたずさえて

◆ 組織変更を発表

技術開発本部を新たに設置します。

当社は、2025年10月8日開催の取締役会において、2025年10月21日付で組織変更並びに取締役の異動を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 組織変更（2025年10月21日付）

- (1) デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進や新技術の活用、市場ニーズに基づいた新製品及びサービスの開発業務を加速させ、新ビジネスの創出を目指すべく、技術開発本部を新たに設置する。
- (2) 生産本部において、生産本部と技術開発本部に分割し、組織の専門性を高め、各業務の権限と責任を明確にし、円滑な業務運営をより一層強化する。

◆ 大阪・関西万博へトランシーバーを無償貸与

当社は、2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」へ、運営参加ブロンズパートナーとして、スタッフの方々が使用するトランシーバーを無償貸与し、準備期間の昨年10月から会場で使用頂きました。

貸与したトランシーバーは、第三者による傍受を防止するオリジナルの特殊設定を搭載しています。当社は、これまで培ってきた高い無線技術を生かし、大阪の地元企業として、「大阪・関西万博」の円滑な運営に貢献いたしました。



提供：2025年日本国際博覧会協会 ©Expo 2025

◆ 映画「大長編 タローマン 万博大爆発」に協賛



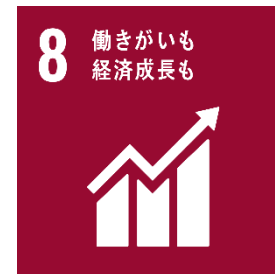
2025年8月22日全国公開の映画「大長編 タローマン 万博大爆発」に協賛いたしました。

2022年にNHK Eテレで放送された「TAROMAN岡本太郎式特撮活劇」を基に、芸術家・岡本太郎氏の作品や言葉をモチーフに制作された映画です。

この作品は「昭和の時代に空想された2025年の未来世界」を再現しており、作中に当社製品が出てまいりますので、是非探してみてください。

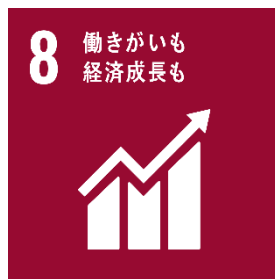
◆ 女性活躍推進企業として、えるぼし（２段階目）認定

2025年3月4日付で当社が女性活躍推進企業として、えるぼし（２段階目）認定を受けました。
えるぼしとは女性活躍推進を行う優良企業に厚生労働省から与えられる認定です。



◆ 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定

2024年に続き、経済産業省及び日本健康会議が定める「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定されました。当社グループは引き続き、健康経営の推進に取り組んでまいります。



アルインコグループ健康経営宣言

アルインコグループは創業以来、社会の「安全・安心」を実現することを目指して歩んで参りました。そしてそのために、まずは社員が「安全・安心」な環境で働けることが基本となります。

「安全・安心」な職場環境で働くことで社員が心身ともに健康となり、その力を最大限発揮できることこそ、企業価値の向上および持続的な成長を生み出せると考えております。アルインコグループは、健康で活気ある職場環境づくりに努め、社員一人ひとりの健康意識向上を継続的に支援してまいります。

**2026年3月期
第1四半期業績**

- ✓売上高は、前年同期比6.1%増と堅調に推移し、これに伴い営業利益は同16.9%増となった。
- ✓経常利益は、為替予約によるヘッジ効果の減少や、外貨建て資産の評価の影響を受けて為替差益が前年同期比2.6億円減少したことなどにより、同20.5%減となった。また、親会社株主に帰属する四半期純利益においても、特別利益が前年同期比1.9億円減少したことなどにより、同40.4%減となった。
- ✓第2四半期業績予想に対する進捗は、売上高は49.5%と順調であるが、利益項目はやや遅れが生じており、今後積み上げを図っていく。

(単位：百万円)

	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q		2026年3月期 2Q	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	1Q進捗率
売上高	14,529 (100.0%)	15,415 (100.0%)	+885 (+6.1%)	31,170 (100.0%)	49.5%
営業利益	550 (3.8%)	643 (4.2%)	+92 (+16.9%)	1,320 (4.2%)	48.7%
経常利益	773 (5.3%)	614 (4.0%)	△158 (△20.5%)	1,500 (4.8%)	40.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	670 (4.6%)	399 (2.6%)	△270 (△40.4%)	930 (3.0%)	42.9%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2026年3月期第1四半期 セグメント情報

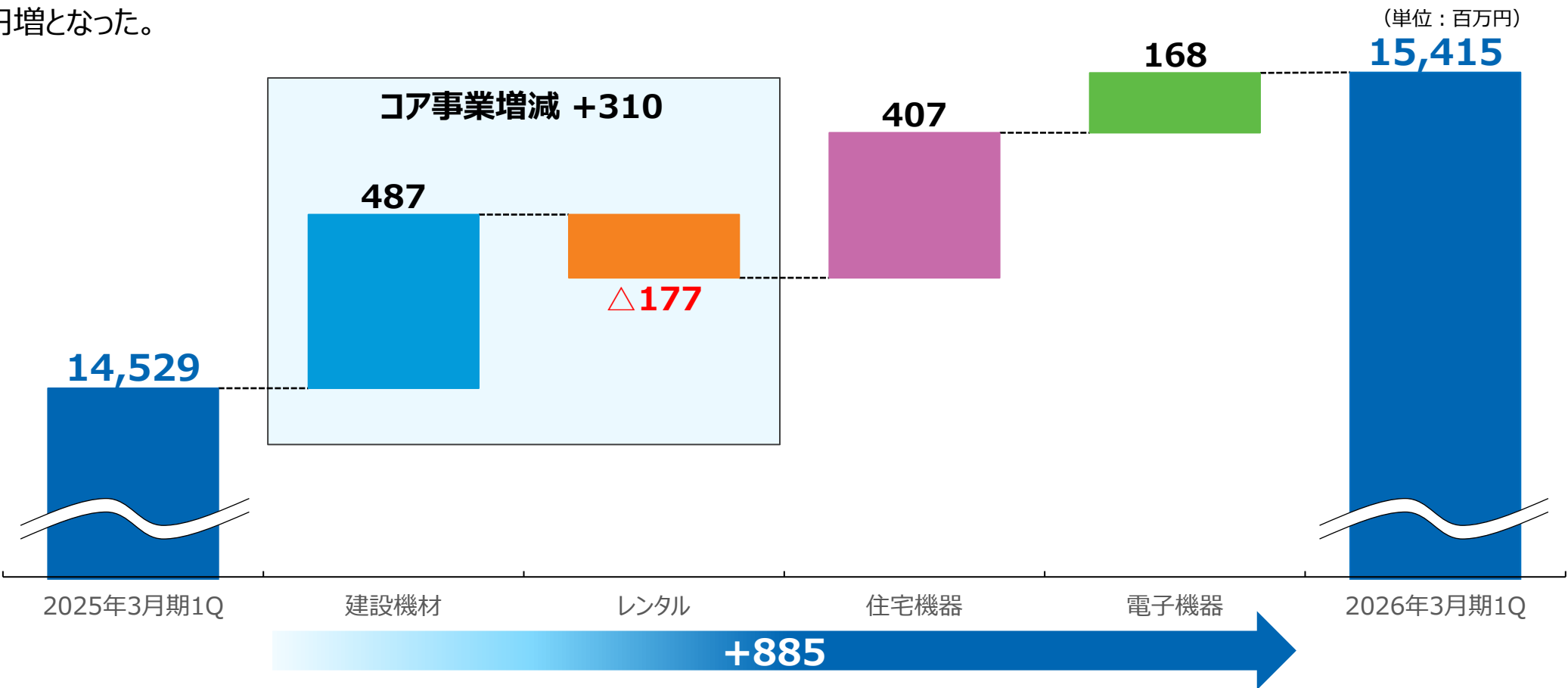
- ✓建設機材セグメントでは、売上高は増加したものの、製品の販売構成の変化などにより利益率が低下し、セグメント利益は減少した。
- ✓レンタルセグメントでは、首都圏を中心に「アルバトロス」をはじめとした主要な製品群の稼働率が堅調に推移したものの、関西圏では大規模な受注現場が終了し受注の端境期となったことから、売上高はやや減少。損益面では、仮設機材レンタル会社の“購買からレンタルへ”の動向に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を継続していることから減価償却費が増加し、セグメント利益は減少した。
- ✓住宅機器セグメントでは、米不足による自家用米備蓄ニーズから玄米保冷庫の販売や、子会社(株)シップの高所作業台の販売が堅調に推移。また、フィットネス関連製品も比較的高額品に販売回復の傾向が見られ、売上高が増加した。
- ✓電子機器セグメントでは、消防無線の更新需要から無線機が堅調に販売を伸ばし、プリント配線板製造子会社の東電子工業(株)では試作受注を安定受注に繋げる取り組みを着実に実行した結果、売上高が増加した。

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q		2026年3月期 2Q	
	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	1Q進捗率
建設機材関連	5,568 594	6,056 479	+8.8% △19.4%	11,750 1,075	51.5% 44.6%
レンタル関連	4,420 364	4,242 247	△4.0% △32.0%	9,080 585	46.7% 42.2%
住宅機器関連	3,365 △118	3,772 12	+12.1% －	7,480 △209	50.4% －
電子機器関連	1,175 △181	1,344 △102	+14.3% －	2,860 △131	47.0% －
調整	－ 113	－ △22	－ －	－ 180	－ －
全社合計	14,529 773	15,415 614	+6.1% △20.5%	31,170 1,500	49.5% 40.9%

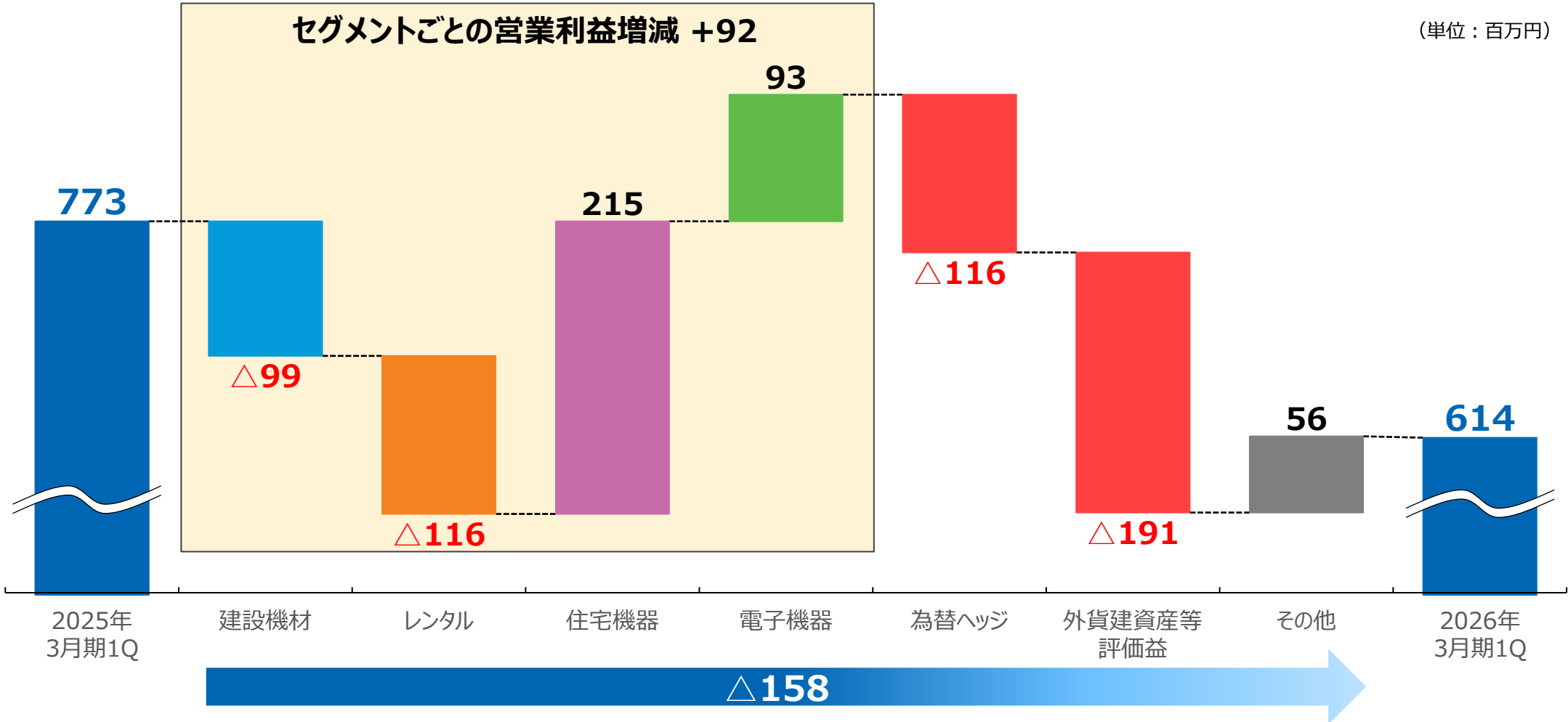
2026年3月期第1四半期 セグメント別売上高増減

- ✓コア事業は、仮設機材レンタル会社による“購買からレンタルへ”の動きが継続している中、消耗度が高い機材の購買ニーズ等に速やかに対応した結果、仮設機材の販売が前年同期比2.9億円増となった。また、物流関連製品の販売が同1.9億円増となり、建設機材セグメントとしては同4.8億円増となった。一方、レンタルは関西圏での大規模な受注現場の終了に伴う受注の端境期となったことから同1.7億円減となった。
- ✓住宅機器関連製品は前年同期比1.4億円増、フィットネス関連製品は同2.6億円増となった。これにより、住宅機器セグメント全体では同4億円増となった。



2026年3月期第1四半期 経常利益増減

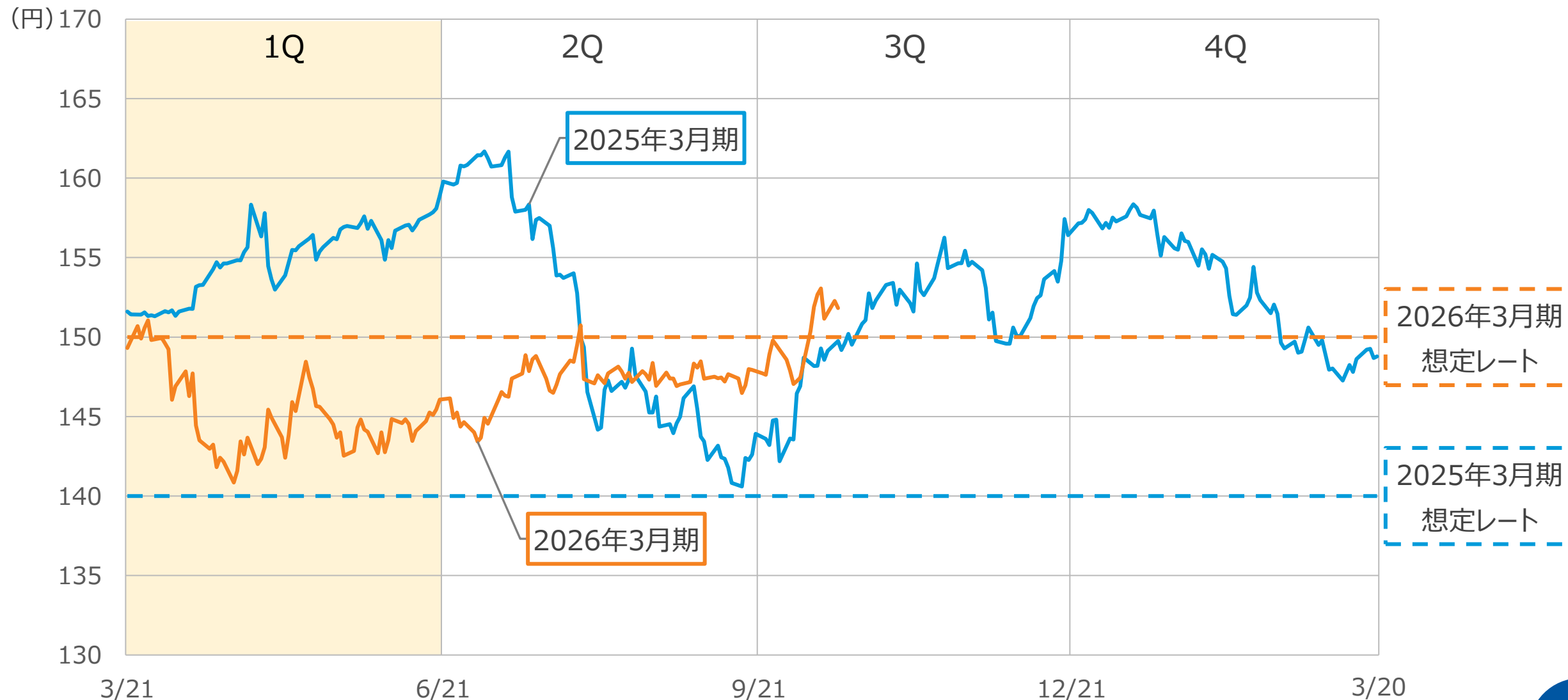
- ✓ 営業利益は、住宅機器や電子機器の売上高増加に加え、円高傾向の継続等による仕入れコストの低減もあり、前年同期比0.9億円増加した。
- ✓ 経常利益は、為替予約によるヘッジ効果が前年同期比1.1億円減少したことや、外貨建資産等の評価益が同1.9億円減少したこと等により、同1.5億円減少した。



ドル／円相場の推移【前年同期比】

✓2026年3月期第1四半期はドル/円相場が想定レート of 150円より円高で推移していることにより、営業利益のプラス要因となっている。

✓一方、前年同期に比べ為替予約によるヘッジ効果の影響は減少した。



《ご参考》ドル／円相場の推移【2022年3月期～現在】

✓ 過去4期でのドル/円相場は想定レートより円安で推移しており、営業利益のマイナス要因となっていたが、今期は現状想定レートより円高で推移しているため、営業利益のプラス要因となっている。





2026年3月期業績予想

2026年3月期 連結業績予想

✓2026年3月期は売上高、利益共に前期を上回る計画

✓原材料価格は前期比上昇を見込み、また、為替は1ドル＝150円を前提とする。

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績			2026年3月期 予想		
	上期 (前年同期比 増減率)	下期 (前年同期比 増減率)	通期 (前期比 増減率)	上期 (前年同期比 増減率)	下期 (前年同期比 増減率)	通期 (前期比 増減率)
売上高	30,822 (+5.4%)	30,778 (+7.4%)	61,601 (+6.4%)	31,170 (+1.1%)	32,330 (+5.0%)	63,500 (+3.1%)
営業利益	1,313 (△3.9%)	882 (+112.8%)	2,196 (+23.2%)	1,320 (+0.5%)	1,780 (+101.8%)	3,100 (+41.2%)
経常利益	1,474 (△29.9%)	1,203 (+55.1%)	2,678 (△7.0%)	1,500 (+1.7%)	1,800 (+49.6%)	3,300 (+23.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,029 (△29.9%)	930 (+78.8%)	1,959 (△1.4%)	930 (△9.7%)	1,250 (+34.4%)	2,180 (+11.2%)

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています

2026年3月期 セグメント別業績予想

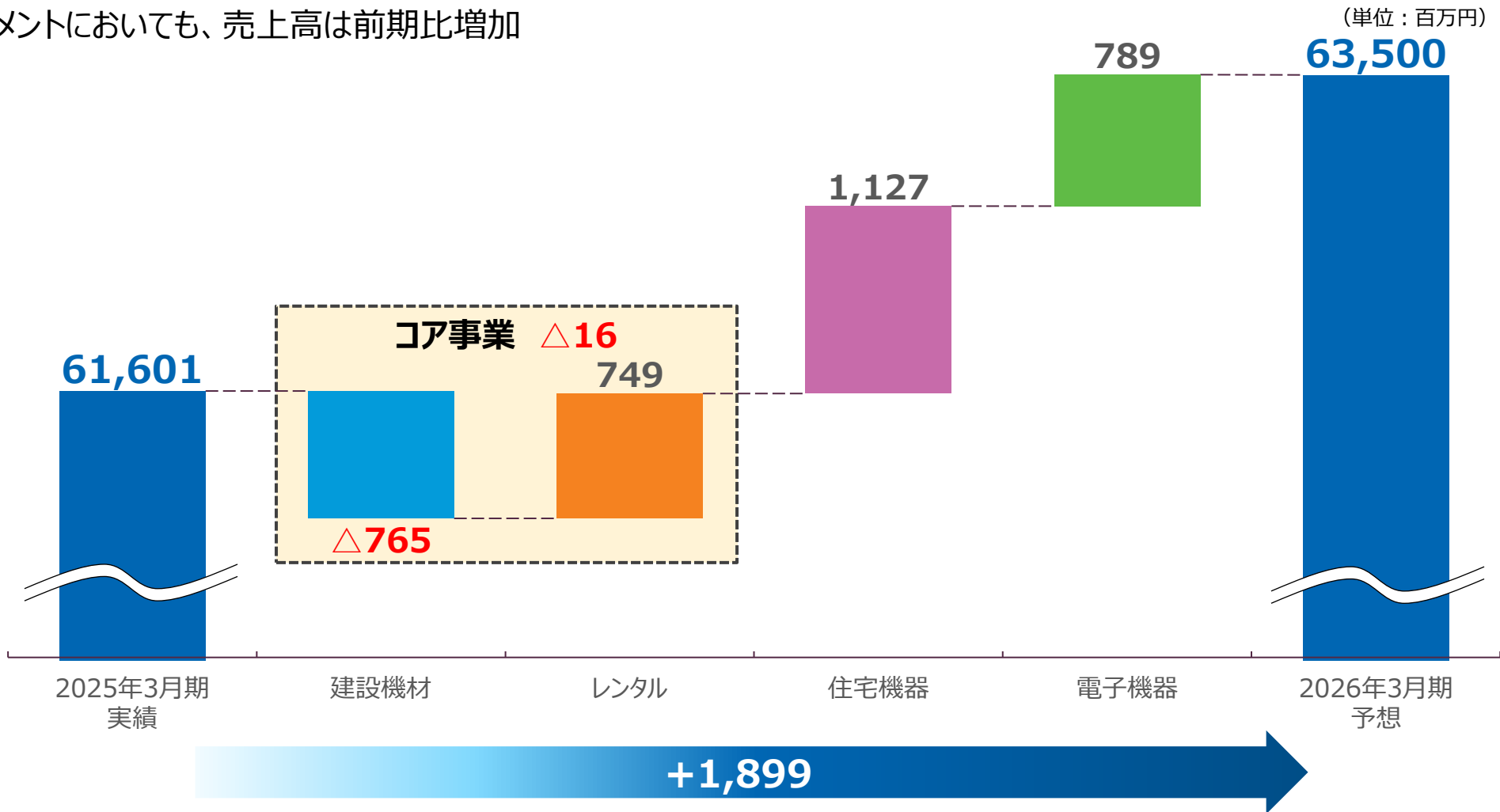
- ✓建設機材セグメントは、“購買からレンタルへ”のニーズ変化が継続するものの、消耗度の高い製品群には堅調なニーズが続く。利益面では材料価格の再上昇と物流コスト増から減収減益の計画
- ✓レンタルセグメントでは、継続的な値上げや高粗利のアルミ製品の新規投入・稼働率の向上等で増収増益を計画
- ✓住宅機器セグメントは機械工具や建設ルートへの拡販、フィットネス関連の業務用ルート拡販で売上高の増加と赤字幅の縮小を図る計画
- ✓電子機器セグメントは主力の特定小電力トランシーバーや消防無線の買い替え需要に対応していくことで増収を計画。プリント配線板関連は、設備増強による得意先の多様化により売上高増を計画

(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2025年3月期 実績			2026年3月期 予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	前期比 増減率
建設機材関連	12,495 1,328	12,070 884	24,565 2,212	11,750 1,075	12,050 978	23,800 2,053	△3.1% △7.2%
レンタル関連	9,025 759	8,976 648	18,001 1,407	9,080 159	9,670 1,295	18,750 1,454	+4.2% +3.3%
住宅機器関連	6,896 △256	7,077 △267	13,973 △523	7,480 △209	7,620 △101	15,100 △310	+8.1% －
電子機器関連	2,404 △325	2,657 △209	5,061 △534	2,860 △131	2,990 34	5,850 △97	+15.6% －
調整	－ △31	－ 146	－ 115	－ 180	－ 20	－ 200	－ －
全社合計	30,822 1,474	30,779 1,204	61,601 2,678	31,170 1,500	32,330 1,800	63,500 3,300	+3.1% +23.2%

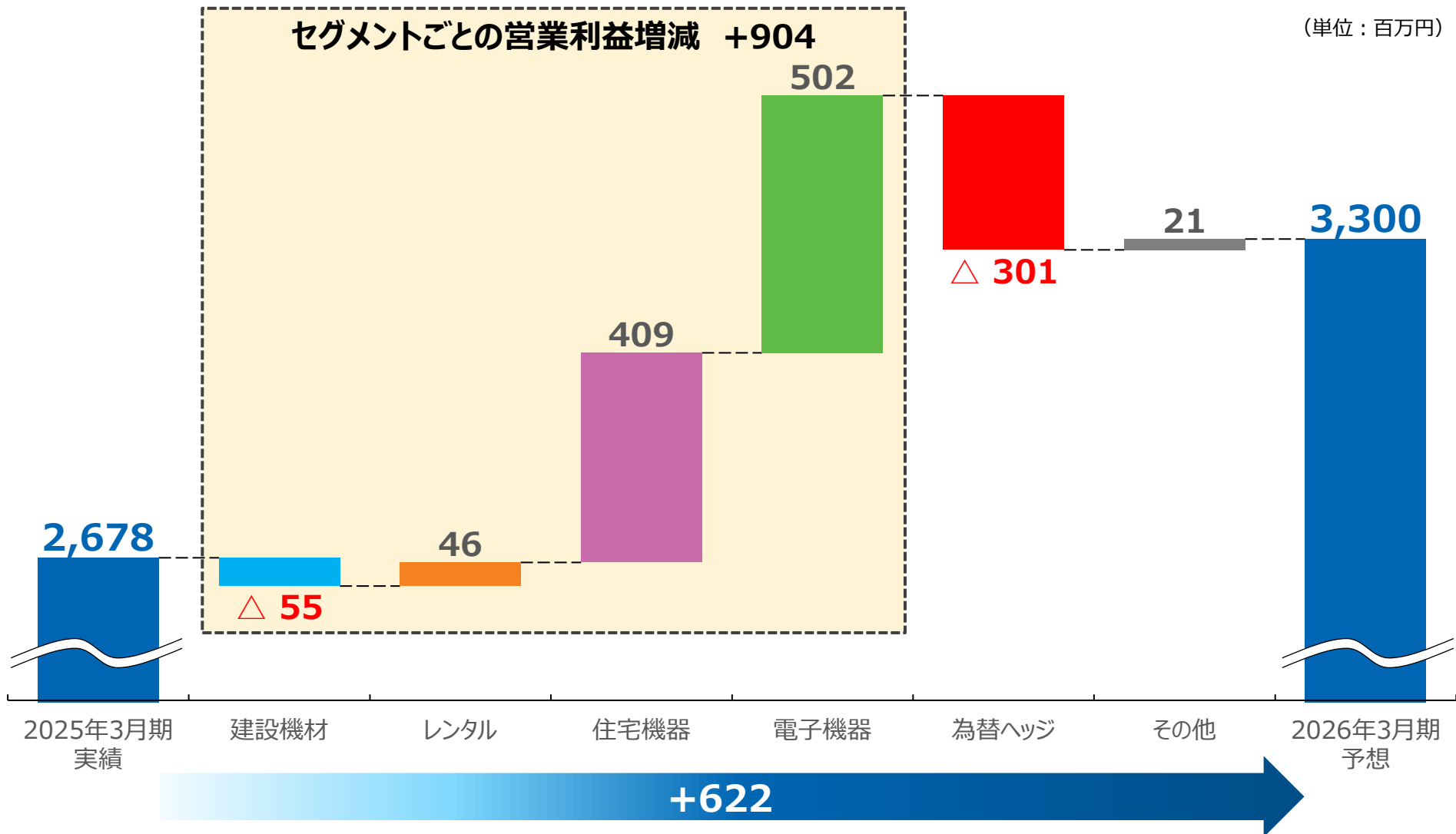
2026年3月期 セグメント別売上高増減予想

- ✓売上高は前期比18億99百万円増の635億円で計画
- ✓コア事業において“購買からレンタルへ”のニーズ変化が継続しているため、建設機材セグメントは前期比7.6億円減に対し、レンタルセグメントが前期比7.4億円増で相互に補完する計画
- ✓その他のセグメントにおいても、売上高は前期比増加



2026年3月期 経常利益増減予想

- ✓営業利益は、各セグメントの売上高増加と利益改善により前期比9億円増加
- ✓経常利益は、為替ヘッジによる為替差益が前期比3億円減少するも、前期比6億22百万円増の33億円を計画

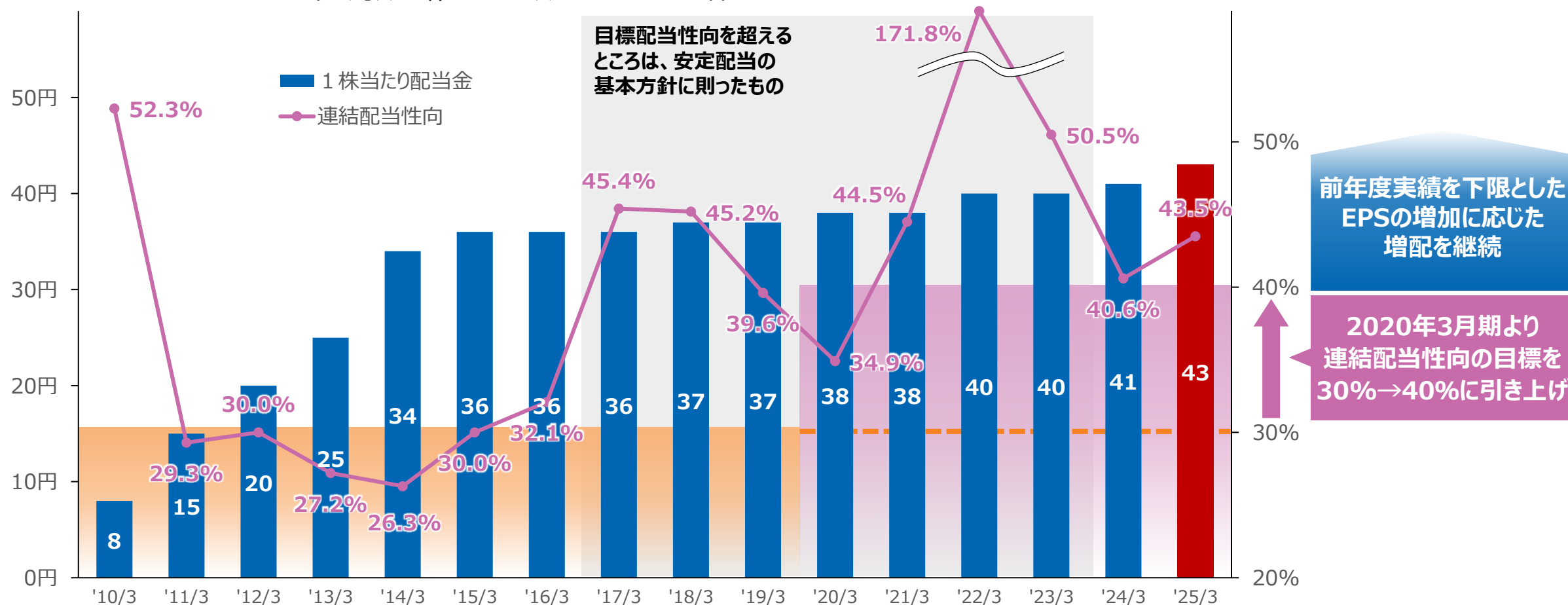


An aerial, isometric view of a city layout. The buildings are represented as 3D rectangular blocks of varying heights and widths, all rendered in a light blue color. The blocks are arranged in a grid-like pattern with some irregularities, suggesting a city street layout. The perspective is from a high angle, looking down at the city. The overall tone is clean and modern.

株主還元

株主還元・配当方針

- ✓ 安定的な配当を基本方針とし、**連結配当性向40%**を目標
- ✓ 「中期経営計画2027」期間中(2025年3月期～2027年3月期)については、前年度実績を下限として一株当たり配当額を利益成長に応じて増加させる**累進配当**を実施
- ✓ 上記方針のもと、2025年3月期の配当は前期比2円増の1株あたり43円とした。



✓ 利益配分に関する基本方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けている。
剰余金の配当について、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向40%を目標として配当を実施していく。
なお、2024年4月3日に公表した「中期経営計画2027」において、剰余金の配当について過去の配当実績などもふまえ、従来の方針に加えて「中期経営計画2027」期間中は、1株あたりの配当額を前年度実績を下限として利益成長に応じて増加させる累進配当を実施することとしている。

✓ 2026年3月期剰余金の配当

2026年3月期の配当金については、上記の利益配分に関する基本方針のとおり、連結配当性向40%の達成と累進配当の実施を勘案し、年間配当金は前期に比べて1円増配の1株あたり44円を予定している。

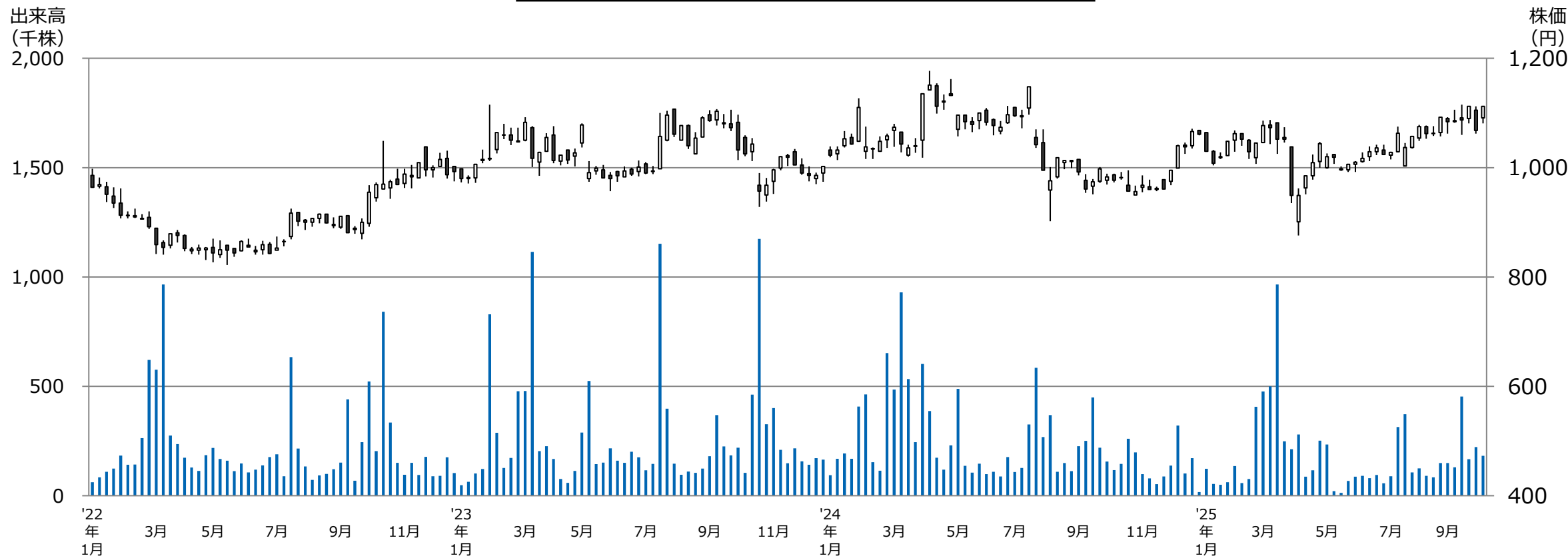
		2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
年間配当金(円)	第2四半期末	20.00	21.00	22.00
	期末	21.00	22.00	22.00
	合計	41.00	43.00	44.00
配当性向(%)		40.6	43.5	40.1

3月20日時点での株主様に対し、
下記金額の商品券をお送りしています。

	3年未満 保有	3年以上 継続保有
500株以上 所有の株主様	1,000円分	2,000円分
1,000株以上 所有の株主様	2,000円分	3,000円分
5,000株以上 所有の株主様	4,000円分	5,000円分
10,000株以上 所有の株主様	6,000円分	8,000円分

- ・3年以上継続保有とは、半期ベースで連続7回以上株主名簿に記載された場合をいいます。
- ・上記の商品券は「VJAギフトカード」となります。

終値 1,078円 (2025年10月15日現在)



配当利回り (予想)

4.08%

純資産倍率 (PBR)

0.68倍

株価収益率 (PER)

9.84倍

An aerial, isometric view of a city layout. The buildings are represented as 3D rectangular blocks of varying heights and widths, all rendered in a light blue color. The blocks are arranged in a grid-like pattern with some irregularities, suggesting a city street layout. The perspective is from a high angle, looking down at the city. The word "APPENDIX" is centered in the middle of the image in a bold, black, sans-serif font.

APPENDIX

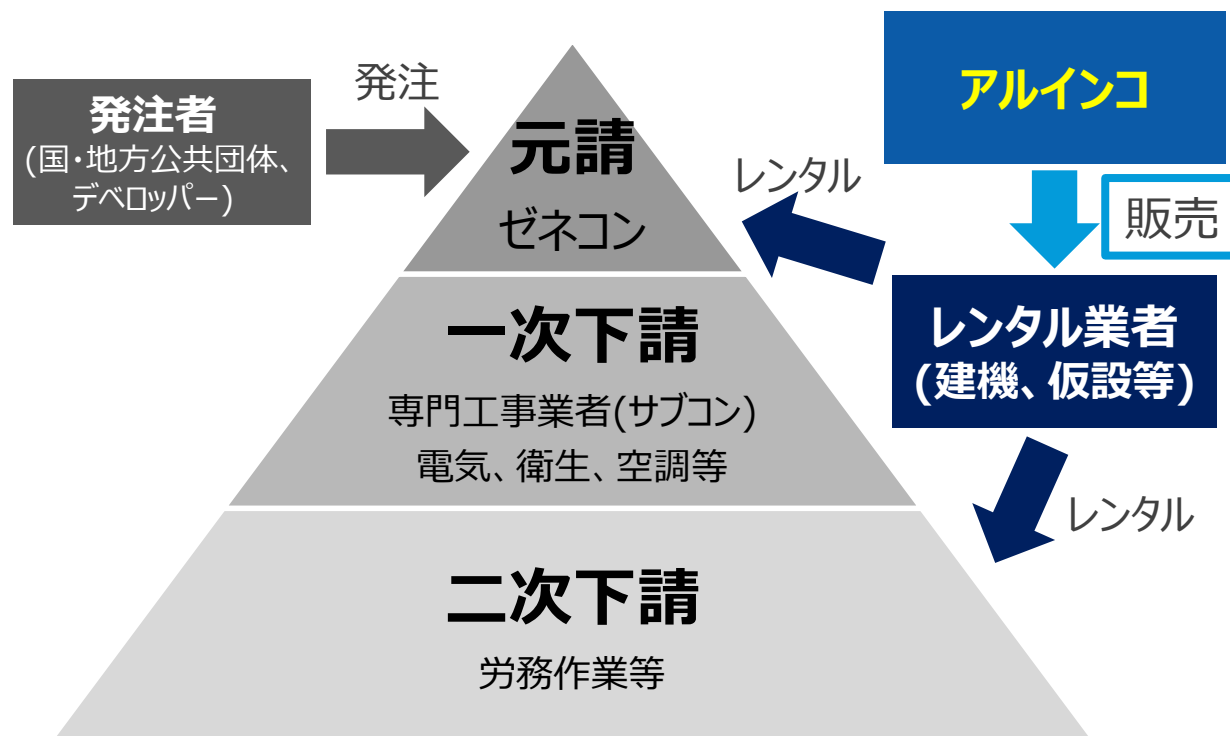
An aerial, isometric view of a city layout. The buildings are represented as 3D rectangular blocks of varying heights and widths, all rendered in a light blue color. The blocks are arranged in a grid-like pattern with some irregularities, suggesting a city street layout. The perspective is from a high angle, looking down at the city. The overall tone is clean and modern.

事業紹介

仮設機材を通して建設現場に関わる全ての人に安心・安全をお届け

ビルや倉庫の建築工事、橋の補修やメンテナンスを行う橋梁工事、建物内部を仕上げる内装工事など様々な工事で必要不可欠な仮設機材を**販売**。また、顧客の要望に合わせた新製品の開発提案。

◆ 建設業界の構造と当社**建設機材事業部**の立ち位置



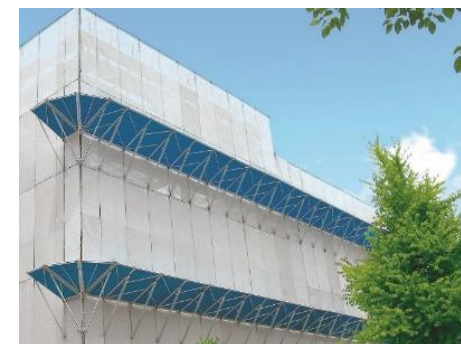
くさび緊結式足場(アルバトロス)

安全と施工性の追求により生み出された新発想の足場。工期短縮とトータルコストダウンを実現。



落下防護柵(アルミ朝顔)

公道や歩道に隣接する工事現場にて、資材等の落下による危害を防止するために設置される。



つりだな足場 (セーフティSKパネル)

主に橋梁工事で使用される。設置・解体に大きな危険を伴った従来の吊り足場の問題を解決し、高い安全性と施工性を実現。

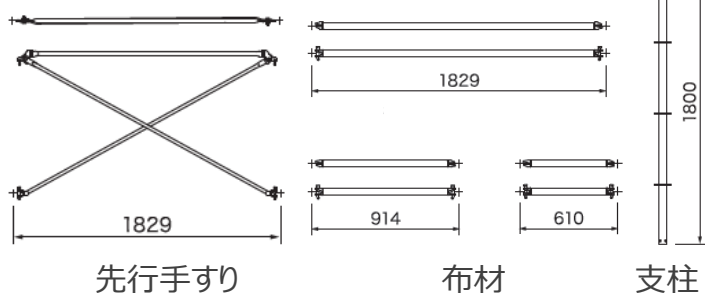


新型足場『アルバトロス』について

新型足場とは、従来の桝組足場や単管足場に代わる次世代の足場。
従来より**作業効率**が良く、**安全性**が高い“**手すり先行工法**”を標準仕様とする。

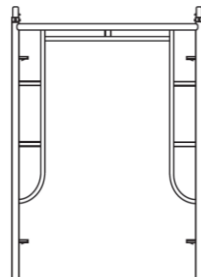
今後＜新型足場＞

支柱、先行手すり、布材等の独立した資材を組み合わせ構成する。
資材同士の取り付けにくさびを用いる。



従来＜桝組足場＞

四角い建枠に、パイプ等をクランプで固定し、積み上げて構成する。



建枠



手すり先行工法が標準仕様・標準工法

改正安衛則適合品、NETIS登録商品
仮設工業会システム承認品



多目的+3D

基本部材(支柱、先行手すり、布材)の組合せとオプション材や周辺機材を組合わせるだけで、多様な目的に使うことが可能。
支柱を中心に布材、先行手すりを4方向に取り付けられるため、立体的で安定した構造を自由な寸法で組み立てることが可能。



作業性

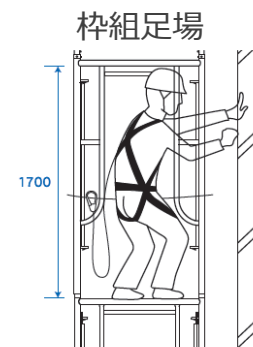
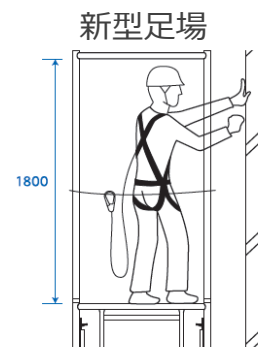
施工性大幅アップで作業コスト削減

■ 足場設置コスト比較表 (2015年 大手レンタル会社のデータによる)

	アルバトロス	桝組+先行手すり枠
労務費	 約50%減	
資材費	 約5%増	
運搬費	 約40%減	
総費用	 約25%減	

(現場条件等により異なる場合があります)

作業スペース拡大



万全の体制で求められる品質をカタチに

お客さまの声をもとに、仮設機材の企画から開発、設計、試作、量産、品質に至るまで安全・安心な製品をトータルにコーディネートできる仕組みを確立。



お客様の多様な物流保管ニーズに対応するために

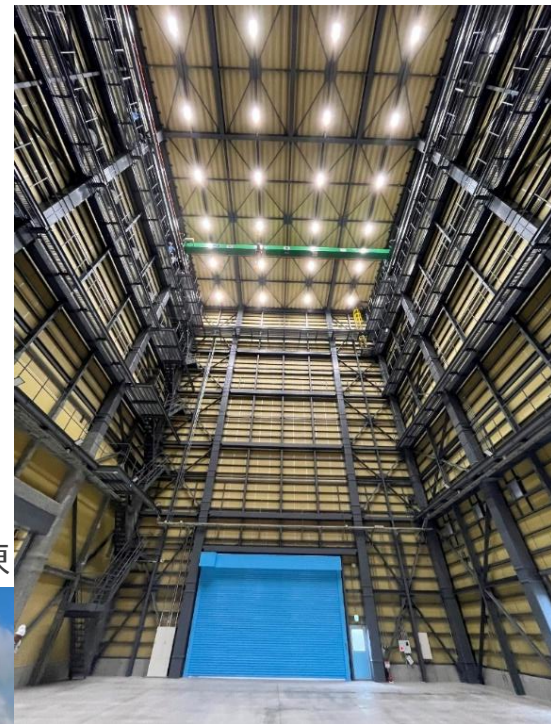
子会社の双福鋼機株式会社では、物流倉庫向けの物流保管設備機器（スチールラック）や鋼製床材などの建材製品の製造、販売を行っており、物流保管システムの効率化・高度化を目指し、耐震対応まで含め、商品企画・システム設計・品質管理にいたるまで、顧客からの幅広いニーズに応えられるサービスを提供。



主力製品のラック類



高さ30mの実験棟内部



倉庫及び実験棟



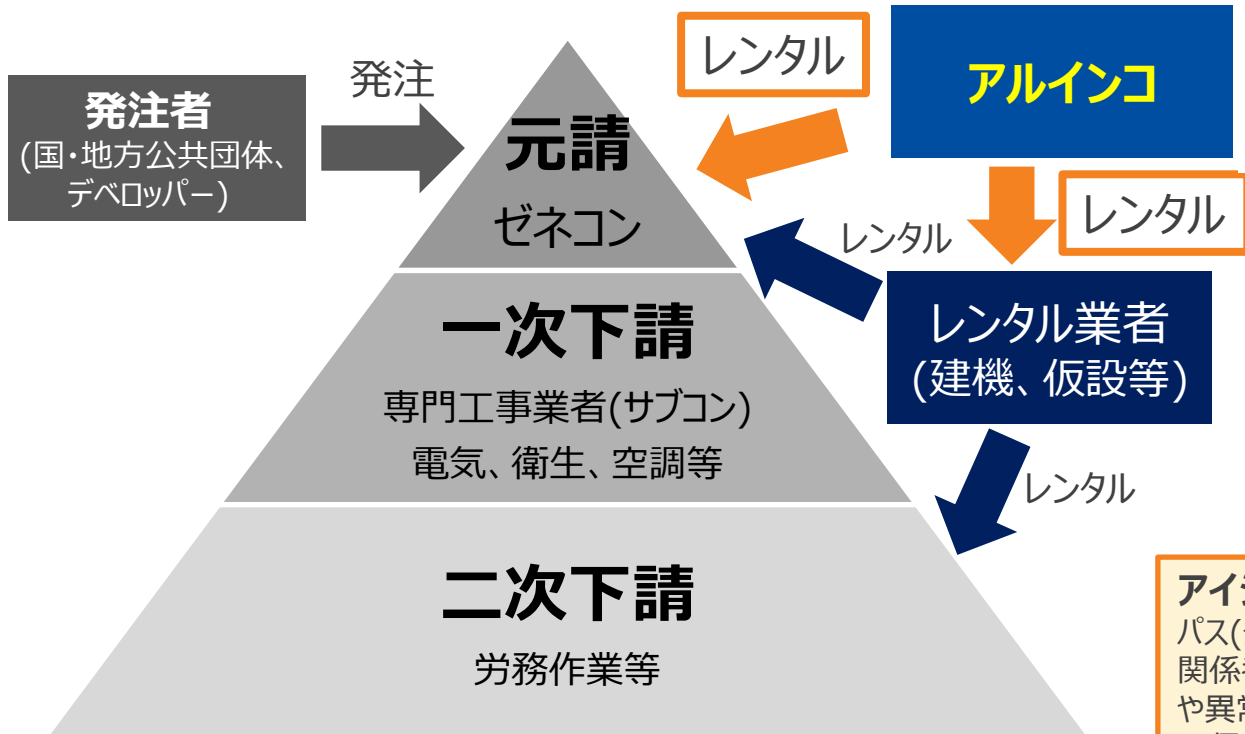
メーカーリースの老舗として、確かな技術で建設現場に安全・安心をお届け

新型足場やアルミ製仮設機材を中心とした仮設機材の**レンタルサービス**を提供。

自社開発、自社製造の強みを活かし、ユーザー様の視点に立った安全・安心を追求。

出典：国土地理院

◆ 建設業界の構造と**レンタルセグメント(中高層用)**の立ち位置



◆ 業務内容

- 仮設足場及び関連機材のレンタル

◆ 全社的な業績以外の役割

- 商品開発のパイロット
- 販売戦略上のバックアップ体制
→ **レンタルで裾野を広げ、販売に繋げる**



◆ 拠点一覧

東京支店
大阪支店
兵庫営業所
川越機材センター
つくば機材センター
高槻機材センター
泉大津機材センター
兵庫機材センター

アイシシステム

パス(発信機)を所持しない者だけに反応し、関係者以外の侵入があった場合に警報音や異常通知メールでお知らせする仮設足場用侵入警報システム



材工一式サービス(One Stop)で業界のトップランナーへ

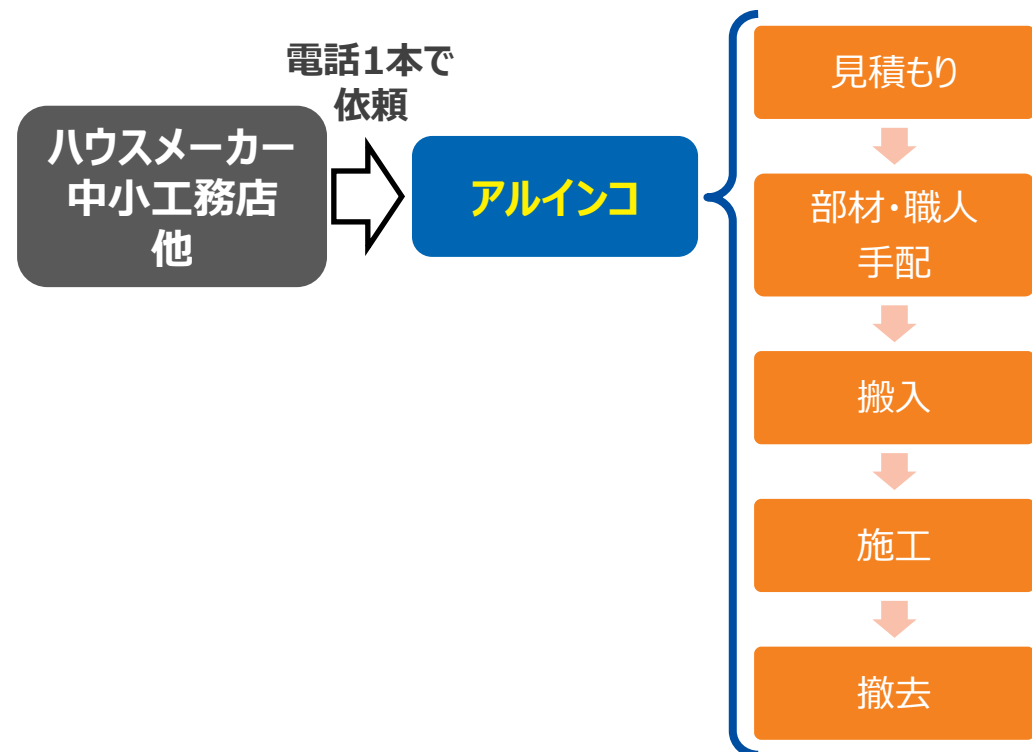
全国展開のネットワークを使って、低層住宅から中層建築、土木分野等あらゆるニーズに応えた設置・撤去工事付レンタルサービスを提供。

顧客のニーズに合った仮設工事を総合プランニングし手配を一本化。

出典：国土地理院

◆ 業務内容

- 仮設工事の見積もりから撤去までの手配
 - 見積もり、部材の拾い出し、図面作成、運搬、施工、撤去
- 現場管理
- 質の高い職人(専属請負業者)の育成



住宅用足場

大手住宅メーカーの安全基準をクリアする施工対応
豊富な付帯商材により柔軟な仮設計画に対応
全国統一の足場品質を実現



仏閣改修工事

様々な形状にも柔軟に対応

アイカメラ

現場管理・防犯対策で活躍

◆ 拠点一覧

仙台営業所
群馬営業所
つくば営業所
水戸SC
宇都宮営業所
千葉営業所
東京営業所
さいたま営業所
所沢営業所
埼玉西営業所
熊谷営業所
相模原営業所
横須賀SC



名古屋営業所
豊橋SC
静岡SC
京滋営業所
大阪営業所
奈良営業所
りんくう営業所
神戸営業所
姫路営業所
福岡営業所
熊本営業所
北九州営業所

Eye Camera

手軽に現場状況を確認できる建築現場の防犯・現場管理システム



新たな機能が付きまして！！

Eye camera 4J



一般ユーザーからプロまで
用途に合わせた“使いやすく安全”な製品をお届け

◆ 主力製品

昇降機器



足場台・はしご兼用脚立



作業台

農業関連機器



玄米保冷库

運搬機器



アルミ製台車



台車

◆ 主な市場

ホームセンター

JA関連

建築金物

機械工具

電材

内装

塗装

板金

株式会社シィップ

昇降足場や作業リフター等の販売・レンタル



移動式昇降足場『のぼる君』



株式会社光モール

モールディングなどの内装建材の販売



外角ミディアムオーク



外角クロス



外角チーク

樹脂モール



アルミアングル
AL1×9×9



アルミアングル
AL1×12×12



アルミアングル
AL1×15×15

金属モール



①パネルフレーム
オフホワイト



①パネルフレーム
ビスケット



②パネルフレーム用
上レール
オフホワイト

パネルフレーム

エス・ティ・エス株式会社

測量機器・レーザー機器の販売



グリーンレーザー墨出器



レーザー距離計



工業用内視鏡



穴掘機

昭和ブリッジ販売株式会社

アルミのブリッジ・台車・農業機器の販売



ショートブリッジ



あぜこし用ブリッジ



リアカー

毎日を健康でアクティブに過ごしたい方へ寄り添う、フィットネス製品を探索

従来の家庭用製品に加え、新たに介護・リハビリ施設やフィットネスジムへ向けた業務用製品を展開。

◆ 主要製品

家庭用ウォーカー・バイク
折り畳み可能でコンパクト



介護・リハビリ向けウォーカー
0.2km/hから設定できるため、
リハビリでの使用に適する



業務用マシン
「日本人が使いやすいコンパクト型」がコンセプト
カラーも充実



◆ 販売ルート

ホームセンター

家電量販店

総合スーパー

通販

ネット通販

スポーツ用品店

その他



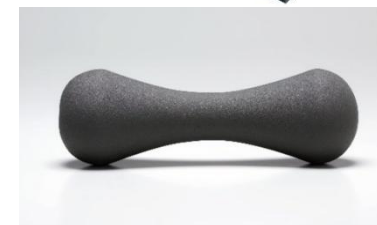
ケアグッズ



マッサージ機



ボディシェイプガン



トレーニンググッズ

トランシーバー及び周辺機器の設計・生産・販売・メンテナンスまでを一元管理

◆ 主要取扱製品

アマチュア無線・受信機



特定小電力



デジタル簡易無線



B
to
C

B
to
B

- ・ 近隣から世界中まで会話を楽しむツール
- ・ 会話を受信するツール

- ・ 通称 インカム
- ・ 遊びでも仕事でも使える連絡ツール

- ・ 業務用として使用するツール
- ・ デジタル消防救急無線
- ・ 自治会放送戸別受信機

◆ 納入実績例

携帯ショップ	車販売店	衣料品店
ホームセンター	食品スーパー	美容クリニック
カラオケ店	アミューズメント施設	ホテル
航空会社	消防	自治体

◆ IP無線機 & モジュールビジネス

クラウドサーバーの運用とIOTビジネスへの参入、
既存製品とのリンク



東電子工業(株) プリント基板の試作・量産製造



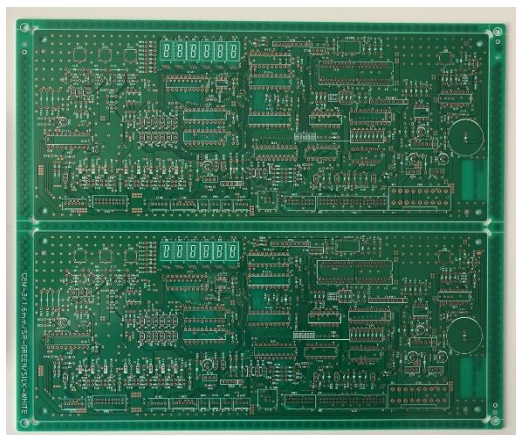
2024年1月より
新工場稼働



ルーター加工



自動露光機



基板（サンプル）



エッチングライン



AOI検査機



外観検査機

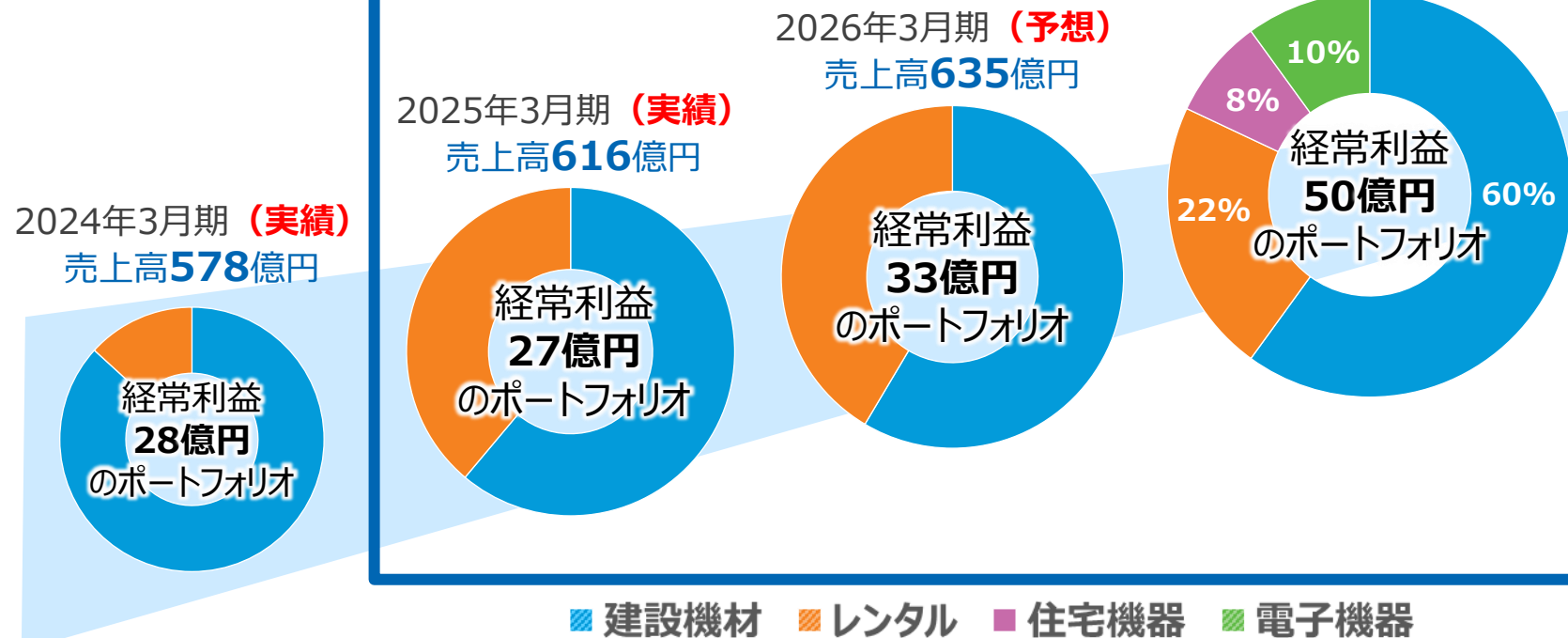


「中期経営計画2027」進捗状況

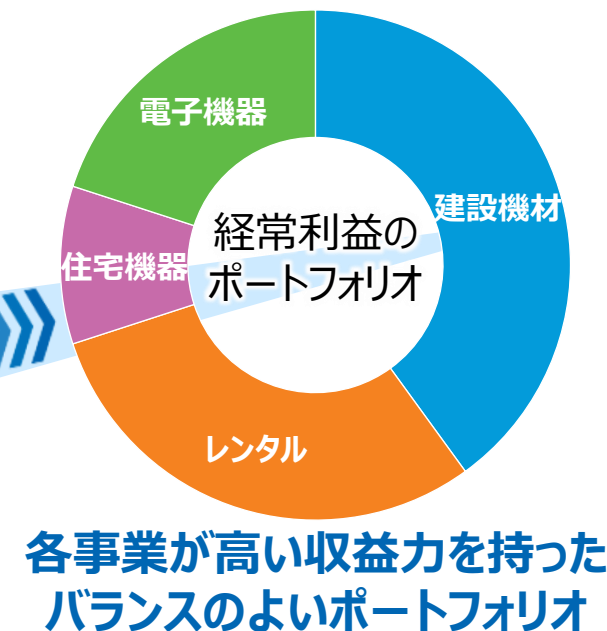
各事業が高い収益力をもち、バランスのよいポートフォリオの構築を目指す

中期経営計画2027

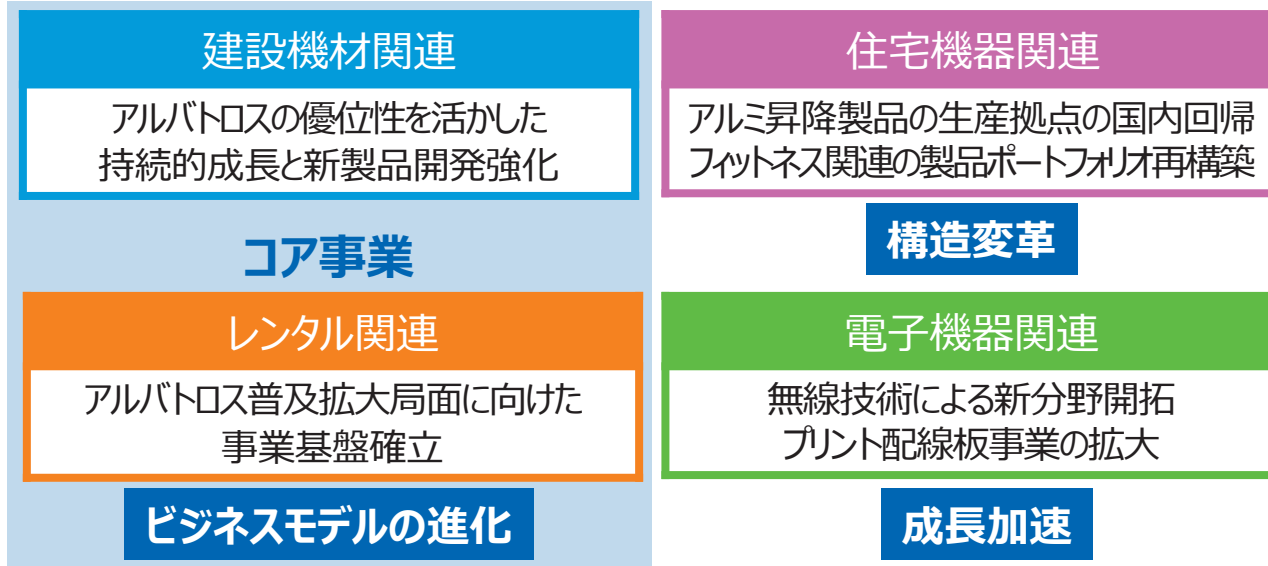
中長期の飛躍に向けて
収益基盤を再構築



長期的に目指す姿
売上高**1,000**億円



Point 01 コア事業の進化と事業ポートフォリオの再構築



Point 02 資本コストや株価を意識した経営の実現 PBR1倍達成に向けた取り組み

$$\begin{array}{ccc} \text{PBR} & = & \text{ROE} \times \text{PER} \\ \text{(株価純資産倍率)} & & \text{(自己資本利益率)} \times \text{(株価利益率)} \\ 0.66\text{倍} & & 6.3\% \times 10.67\text{倍}^* \end{array}$$

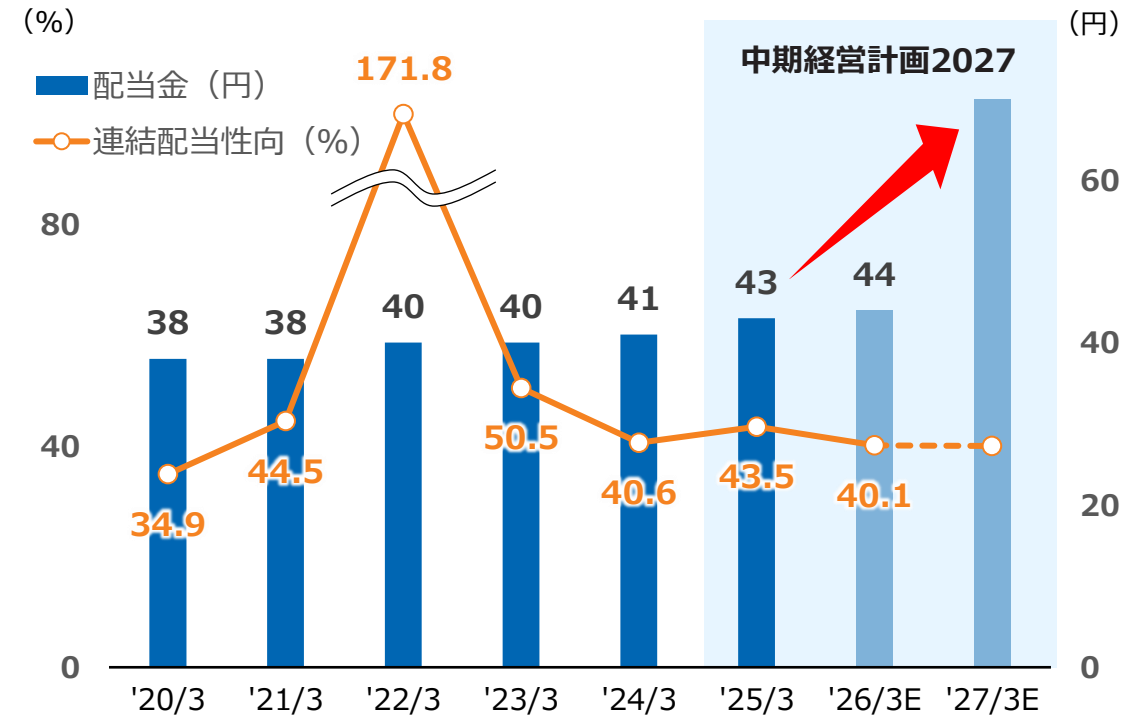
目標 1.0倍以上 9%以上 17倍以上

*2025年3月20日時点

Point 03 連結配当性向目標40%に加え 累進配当を実施

株主還元・配当方針

連結配当性向40%目標 + 累進配当



- ✓ 中期経営計画初年度の2025年3月期は、売上高は目標に向かい堅調に推移しているものの、想定を超えた円安による仕入れコストの増加や電子事業関連の減価償却の増加により、利益項目の進捗が当初計画に対し遅れている。
- ✓ 中期経営計画2027の目標達成に向け、仕入コストの削減や販路の拡大、新製品の開発に注力し利益率を高めて、決算予想の数値を最低限のコミットとし売上げ・利益の積み上げを図る。

(単位：百万円)

	2025/3 実績 (2027年3月期 目標達成率)	2026/3 予想 (2027年3月期 目標達成率)	中期経営計画2027 2027/3 目標	2026/3予想と 目標値の差
売上高	61,601 (90.6%)	63,500 (93.4%)	68,000	△4,500
経常利益	2,678 (53.6%)	3,300 (66.0%)	5,000	△1,700
経常利益率	4.3%	5.2%	7.4%	△2.2pt
ROE	6.3%	6.8%	9.0%	△2.2pt
自己資本比率	45.1%	47.0%	45.0%	+2.0pt

セグメント別業績目標

- ✓コア事業は“購買からレンタルへ”のニーズ変化に伴い、建設機材関連が少々停滞するがレンタル関連で補完する。
- ✓住宅機器関連のフィットネス事業は、利益率の高い業務用大型機器の拡販や、小物の新商品を多数発売することで増収増益を計画。
- ✓電子機器関連は、主力の特定小電力トランシーバーの新製品投入や販路拡大、今後継続することが想定される消防無線の買い替え需要により増収増益を図る。また、プリント配線板製造子会社の東電子工業は、設備増強による得意先の多様化により売上高増を計画。

(単位：百万円)

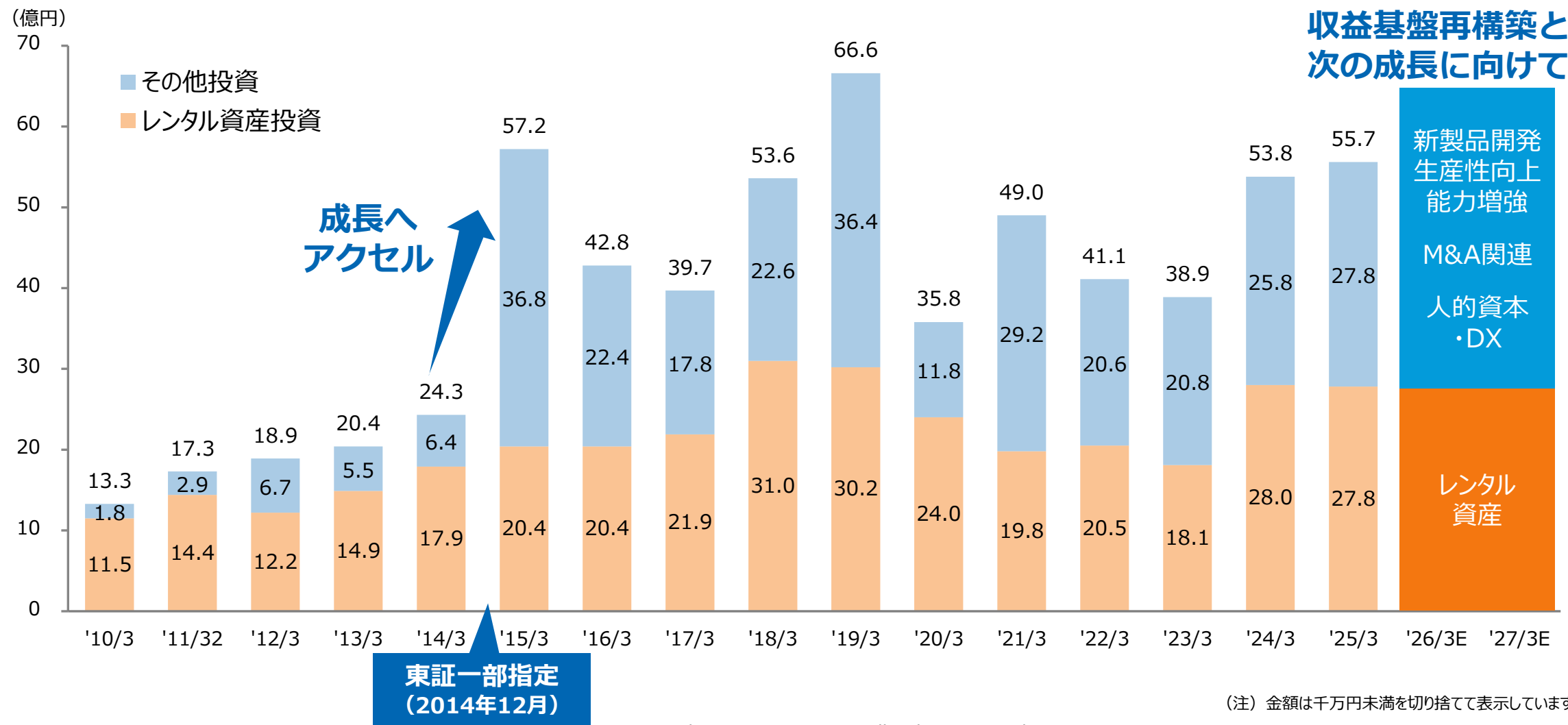
コア事業

建設機材関連	2025年3月期 実績 (2027年3月期 目標達成率)	2026年3月期 予想 (2027年3月期 目標達成率)	2027年3月期 中期経営計画 目標
売上高	24,565 (98.7%)	23,800 (95.6%)	24,900
セグメント利益	2,212 (73.7%)	2,053 (68.4%)	3,000
利益率(%)	9.0%	8.6%	12.0%
レンタル関連	2025年3月期 実績 (2027年3月期 目標達成率)	2026年3月期 予想 (2027年3月期 目標達成率)	2027年3月期 中期経営計画 目標
売上高	18,001 (94.7%)	18,750 (98.7%)	19,000
セグメント利益	1,407 (127.9%)	1,454 (132.2%)	1,100
利益率(%)	7.8%	7.8%	5.8%

住宅機器関連	2025年3月期 実績 (2027年3月期 目標達成率)	2026年3月期 予想 (2027年3月期 目標達成率)	2027年3月期 中期経営計画 目標
売上高	13,973 (83.2%)	15,100 (89.9%)	16,800
セグメント利益	△523 (-)	△310 (-)	400
利益率(%)	-	-	2.4%
電子機器関連	2025年3月期 実績 (2027年3月期 目標達成率)	2026年3月期 予想 (2027年3月期 目標達成率)	2027年3月期 中期経営計画 目標
売上高	5,061 (69.3%)	5,850 (80.1%)	7,300
セグメント利益	△534 (-)	△97 (-)	500
利益率(%)	-	-	6.8%

年度ごとの投資の状況

- ✓ コア事業のビジネスモデル進化に向けてレンタル資産への積極投資を継続
- ✓ 次の成長に向けたM & Aのリサーチと新製品開発投資を強化



中期経営計画投資額

- ✓ 新製品開発に関する投資を継続強化
- ✓ 人的資本・DXに関する投資を大幅に増額

	中期経営計画 2027 (2025年3月期～ 2027年3月期)	2025年3月期 実績	計画に対する 進捗率	
レンタル資産投資	70億円	27.8億円	39.7%	● 新型足場のシェア拡大のための積極投資
新製品開発投資 生産性向上・ 能力増強投資	55億円	24.7億円	44.9%	● 製品の高付加価値化に向けた開発投資 ● 機材センターの整備能力向上投資 ● 製造工程の自動化投資
M&A関連投資	30億円	0.8億円	2.7%	● ニッチトップの強みを持ち、既存事業とのシナジー が期待できる企業の買収やアライアンス構築
人的資本・ DX投資	10億円	2.3億円	23.0%	● 高度プロフェッショナル人材採用 ● 社内システムのスリム化、データプラットフォームの 整備、業務の自動化・省人化
合計	165億円	55.7億円	33.8%	

(注) 金額は千万円未満を切り捨てて表示しています



資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けて

中期経営計画2027におけるPBR1倍達成に向けた取り組み

- ✓ PBR1倍達成に向けてROEとPERを高める取り組みを最重要課題として推進
- ✓ 当社独自のビジネスモデルにおいて各セグメントの成長性を高めることにより、PERの向上ひいてはPBR向上を図る。

	PBR (株価純資産倍率) $\frac{\text{株価}}{\text{1株当たり純資産}}$	ROE (自己資本利益率) $\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$ 【会社の収益力】	PER (株価収益率) $\frac{\text{株価}}{\text{1株当たり利益}}$ 【投資家の期待値】
現状	0.66 (倍)	6.3 (%) (2025年3月期実績)	10.67 (倍) (2025年3月20日時点)
目標	1.00 (倍) 以上	9.0 (%) 以上	17 (倍) 以上

①ROEの向上

- ・「中期経営計画2027」の実行による収益改善、業容拡大
- ・持続的なコア事業の成長と多角化事業の収益性改善
- ・M&Aによって外部の成長力を取り込み利益額を増加
- ・成長投資、人材、DXへの投資
- ・自己資本比率45%を目標とした成長と安定のバランスと、株主還元政策の実施

②成長期待を高める

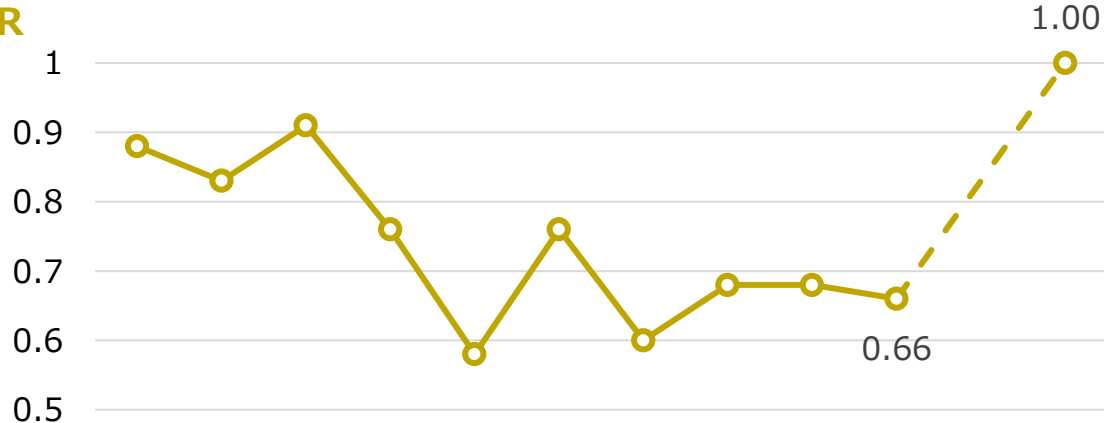
- ・各事業戦略の実行状況についてのタイムリーな情報開示
- ・成長分野/注力分野についての情報発信強化

③ディスカウント要因を解消する

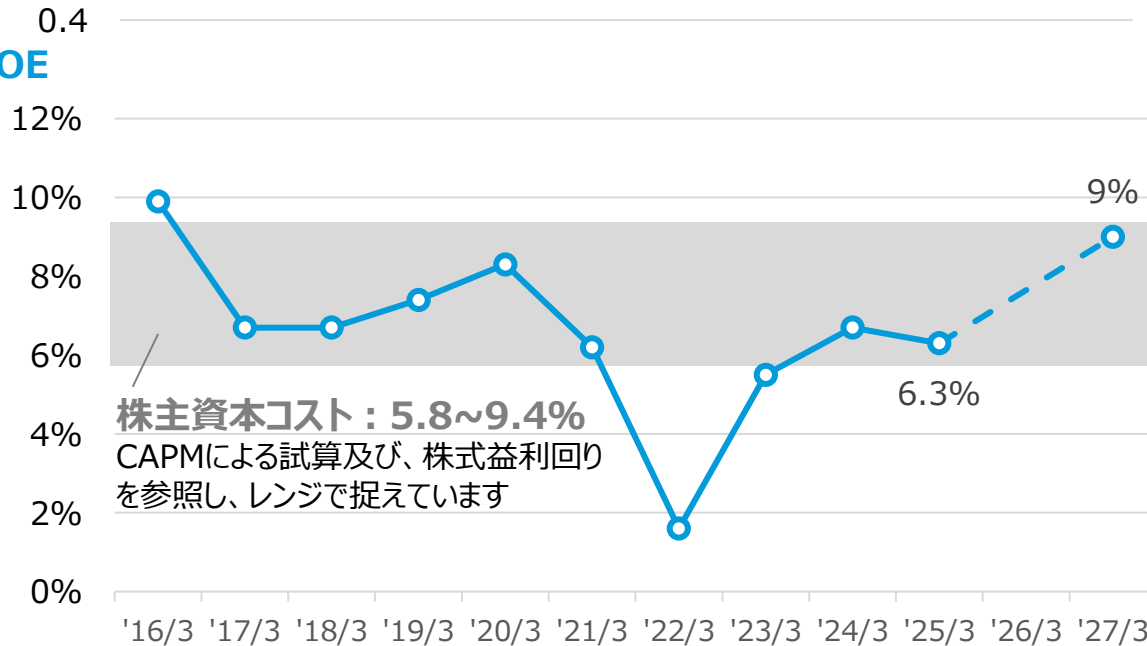
- ・外部環境に左右されにくい多角化事業の利益構造安定
- ・情報開示の機会均等による株主構成への配慮
- ・IR強化による株主・投資家との接点の拡大

PBR1倍割れの主な原因はコア事業以外のセグメント利益率低下によるROEの低迷

PBR

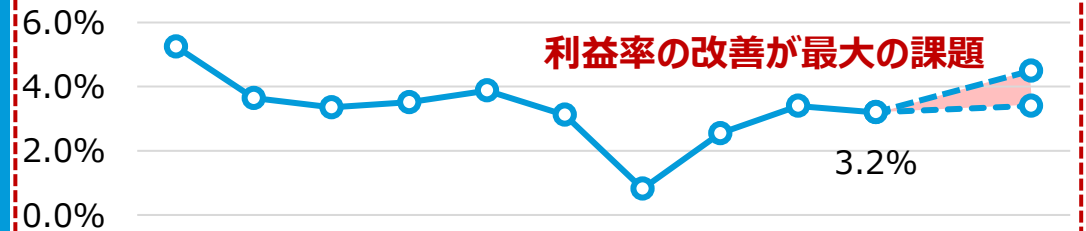


ROE

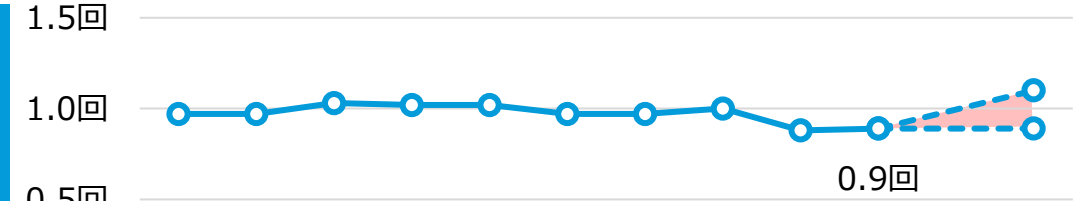


- 円安による仕入コスト増加によって、海外仕入比率の高い住宅機器関連事業の利益率が低下
- レンタル事業への投資による減価償却負担や積極的なM&Aによるのれん償却負担が会計上の利益を圧迫

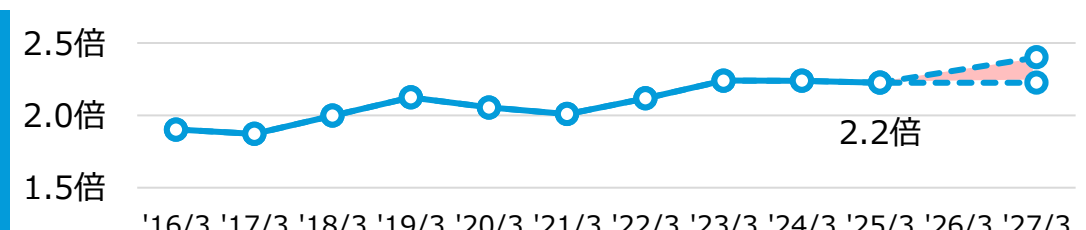
当期純利益率



総資産回転率



財務レバレッジ



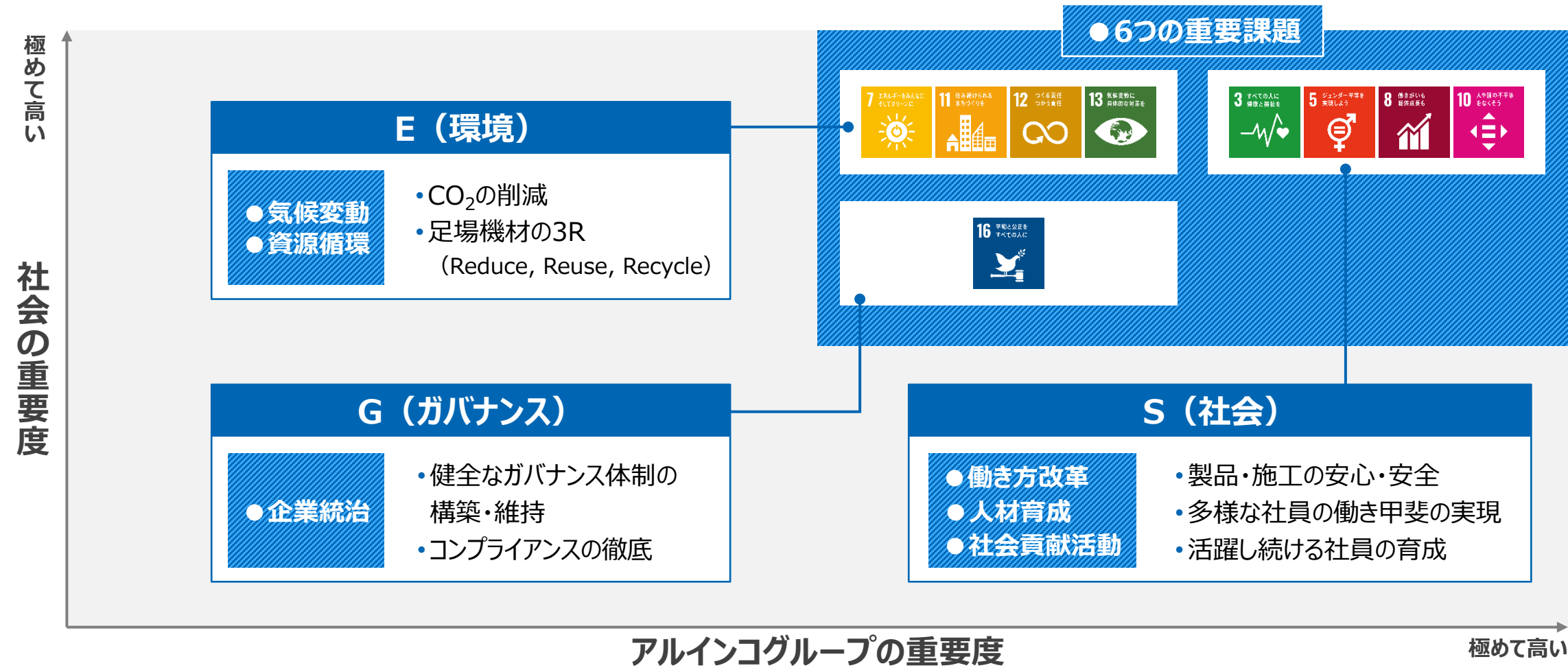
$$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \times \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$$

ROE = 当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

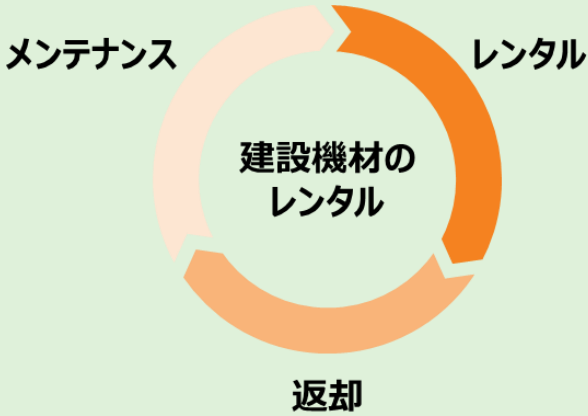


社会課題への取り組み

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するとともに、私たちの製品・サービスによって、持続可能な社会の実現に貢献します



アルインコグループの重要度
アルインコグループの経営理念「社会に貢献」「会社の発展」「社員の成長」

	E（環境）	S（社会）	G（統治）
経営上の重要課題	気候変動と資源循環 	働き方改革、人材育成 社会貢献活動 	企業統治 
主な取り組み	事業活動を通じたCO₂排出量削減 ✓ グループ全体でのCO₂排出量算定 ✓ 主要な事業拠点での再生可能エネルギーの導入推進 建設用仮設機材の販売とレンタル事業を通じた資源循環への貢献 ✓ 限りある資源を有効に活用することで環境負荷の低減に貢献しています 	仮設機材の安全性向上を通じた労働安全衛生への貢献  「働き方改革」 ✓ 労働時間の弾力的運用 ✓ 育児・介護との両立支援制度の充実 ✓ 技術継承と競争力強化のための多様な人材採用 ✓ 教育研修の拡充 ✓ 健康経営の推進 次世代に繋がる社会活動を支援 ✓ スポーツなどを通じた青少年育成支援に協賛 ✓ 地域スポーツの振興支援	コンプライアンスの徹底 ✓ 定期的な研修とアンケートによる意識の浸透 内部通報制度の充実 ✓ 匿名性を確保し取引先も包摂した外部窓口の設置と運用 内部管理体制 ✓ 社長直轄の3つの組織体が有機的に連携し、持続的な成長と持続可能な社会への貢献を両立 ・ 執行役員会議…取締役会の事業方針に基づき業務を執行 ・ リスクマネジメント委員会…リスクの点検、評価、対策などを管理・監督 ・ サステナビリティ委員会…重要課題を特定し、取り組みを推進

地域貢献活動



©Expo 2025

2025年日本国際博覧会
「大阪・関西万博」へ協賛
「運営参加ブロンズパートナー」として
トランシーバーを無償貸与

青少年育成支援活動



全日本少年硬式野球連盟

全日本
少年硬式野球連盟 「大阪エヴェッサ」



Bリーグ

GAMBASSIST



GAMBAssist



児童招待公演
「こころの劇場」

地域スポーツの振興・発展



日本プロサッカーリーグ
「V・ファーレン長崎」

障がい者自立支援活動



Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

一般社団法人障がい者自立推進機構
「Paralym Art®（パラリンアート）」

各種団体等に対する寄附

- ・公益社団法人日本将棋連盟
関西将棋会館(大阪府高槻市)の建設
- ・日本赤十字社
新型コロナウイルス感染症への医療活動資金

ふるさと納税

高槻市のふるさと納税返礼品を提供

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社 経理本部 IR室

大阪府中央区高麗橋4-4-9淀屋橋ダイビル

E-mail : alinco-ir@alinco.co.jp